

記者発表資料
令和元年6月14日
園芸振興室園芸振興班 門間, 松谷
電話 022-211-2843
Email engei-shinko@pref.miyagi.lg.jp

～令和元年度県育成いちご新品种「にこにこベリー」展開事業～
「にこにこベリー」生産者・関係機関が一堂に集結
「第1回「にこにこベリー」栽培研修会を開催します！」

今年度は、県育成いちご新品种「にこにこベリー」の本格デビューの年であり、県内全域で栽培が始まります。

そこで、関係者等を一堂に集め、栽培管理で最も重要な育苗期の管理のポイントについての研修会を開催します。

今年度は「にこにこベリー」の魅力をPRするイベントと栽培研修を、年間を通じて開催しますので、報道関係者の皆様には、是非ぜひ取材願います。

- 1 日時 令和元年6月18日（火） 午後1時30分から午後3時40分まで
- 2 場所 宮城県農業・園芸総合研究所 本館6階講堂（名取市高舘川上字東金剛寺1）
- 3 内容 (1) 「にこにこベリー」の振興計画等について
(2) 2019年産の「にこにこベリー」の生産状況について
(3) 「にこにこベリーの栽培管理について～育苗期から定植期まで～」
(4) 「いちごの病害虫管理について～育苗期から定植期まで～」

※「にこにこベリー」栽培マニュアルを配布します。また、希望者は閉会后に所内いちごほ場の視察もします。

○主催 宮城県（共催 全国農業協同組合連合会宮城県本部）

宮城県育成イチゴ新品种「にこにこベリー」の概要

県内イチゴ生産の現状

- ・本県育成品種「もういっこ」と「とちおとめ」が本県の主要品種。
- ・「とちおとめ」は早生の特性を持ち、単価に優れる年内中に品質の良い果実が収穫可能。
- ・「とちおとめ」は奇形果の発生が多い、収量が少ない等の欠点が課題。



果実が大きく
収量が多い
「もういっこ」



果実の色・形
食味の良い
「とちおとめ」



果実の香りが良く
収量が多い

「にこにこベリー」



- ◆ 奇形果が少なく、収量が多い
- ◆ 花芽分化は「とちおとめ」並に早い
- ◆ 香りが良い
- ◆ 糖度・酸度のバランスが良く、食味が良い
- ◆ 果実の硬さは「もういっこ」並

